C－２　次世代ファイアーウォール装置B
①仮想ドメイン機能を有すること。②IEEE802.3baに基づくインタフェース（QSFP28に基づいた100GBASE-LR4として動作するもの）及びIEEE802.3bmに基づくインタフェース（QSFP28に基づいた100GBASE-SR4として動作するもの）を２ポート以上有すること。③次世代FWスループット15Gbps以上を有すること。

C－３　次世代ファイアーウォール装置C
①仮想ドメイン機能を有すること。②IEEE802.3byに基づくインタフェース（SFP28に基づいた25GBASE-SR／LRとして動作するもの）を４ポート以上有すること。③次世代FWスループット10.5Gbps以上を有すること。

D　仮想基盤サブシステム
仮想基盤サブシステムは大学運営に必要なサービスを提供するためのインフラとして仮想基盤の提供を行う装置である。後で述べる大容量ストレージサブシステムをデータストアとして用いることを想定した仮想基盤システムである。今回の調査では、以下のような機能を持つ装置についての情報を広く求める。

D－１　仮想基盤システム
①物理容量１TB以上のSASドライブで回転数7,200rpm以上の機能を有するホットプラグ対応のハードディスクドライブを２基以上有する内部ストレージを提供すること。②CPUcoreとして32個以上提供すること。③主記憶としてメモリは384GB以上提供すること。④IEEE802.3baに基づくインタフェース（QSFP28に基づいた100GBASE-LR4として動作するもの）及びIEEE802.3bmに基づくインタフェース（QSFP28に基づいた100GBASE-SR4として動作するもの）を２ポート以上有すること。⑤遠隔管理機能として、サーバ機能停止時にもアクセス可能な遠隔管理機能を有すること。⑥ゲストOSをバックアップするソフトウェアを提供すること。

E　大容量ストレージサブシステム
大容量ストレージサブシステムはファイアーウォール収容スイッチからミラーされたパケットの格納ならびに、次世代ファイアーウォールサブシステムが出力するログおよび、各システムが生成するsyslogを保存するためのものである。今回の調査では、以下のような機能を持つ装置についての情報を広く求める。

E－１　大容量ストレージ
①物理容量８TB以上のSATAドライブで回転数7,200rpm以上の機能を有するホットプラグ対応のハードディスクドライブを90基以上有する外部ストレージを提供すること。SSDと混在できること。②NFSおよびLustreファイルシステム機能を有すること。③主記憶としてメモリは最大24GB／秒のシーケンシャル読み取り性能を有すること。④IEEE802.3baに基づくインタフェース（QSFP28に基づいた100GBASE-LR4として動作するもの）及びIEEE802.3bmに基づくインタフェース（QSFP28に基づいた100GBASE-SR4として動作するもの）を４ポート以上有すること。⑤遠隔管理機能として、サーバ機能停止時にもアクセス可能な遠隔管理機能を有すること。

E－２　大容量ストレージ及び仮想基盤収容スイッチ
①IEEE802.3baに基づくインタフェース（QSFP28に基づいた100GBASE-LR4として動作するもの）及びIEEE802.3bmに基づくインタフェース（QSFP28に基づいた100GBASE-SR4として動作するもの）を32ポート以上有すること。②ループガード機能を有すること。③SSHプロトコルによるログイン機能を有すること。

F　セキュリティ対策サブシステム
セキュリティ対策サブシステムは本学の学外接続口に設置し、外部よりの不正アクセスの検知、学内からの不正トラヒックの検知、学内のウィルス感染端末の検出などを行う装置である。今回の調査では、以下のような機能を持つ装置についての情報を広く求める。

F－１　DNSアプライアンス装置
①サービス無停止で、設定変更・パッチ適用やバージョンアップも一括に行える機能を有すること。②装置内に仮想的なDNSサーバを複数立てて、そのDNSサーバごとに管理者を設定する機能を有するものについて広く意見を求める。

F－２　脆弱性管理装置
①ネットワーク経由でスキャンを行うことで、ネットワークに公開しているサービスの脆弱性を検知する機能を有すること。②脆弱性データ、脅威インテリジェンス、データサイエンスを組み合わせてリスクスコアを提示するリスク分析機能を有すること。

F－３　ログ管理装置
①次世代ファイアーウォールサブシステムのログを収集・分析し、レポートを作成する機能を有すること。②800以上の管理ドメインを管理できる機能を有すること。

F－４　TAPスイッチ
①IEEE802.3baに基づくインタフェース（QSFP28に基づいた100GBASE-LR4として動作するもの）及びIEEE802.3bmに基づくインタフェース（QSFP28に基づいた100GBASE-SR4として動作するもの）を２ポート以上有すること。②IEEE802.3aeに基づくインタフェース（SFP＋に基づいた10GBASE-SR／LR／ER／ZRとして動作するもの）を24ポート以上有すること。③マルチポートミラーリング機能を有すること。④SSHプロトコルによるログイン機能を有すること。⑤TAPによるモニタリング機能を有するものについて広く意見を求める。

２　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　令和５年６月14日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提供先　〒804―8550 北九州市戸畑区仙水町１－１　九州工業大学経理課契約企画係　永久　勇一　電話093―884―3029

３　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　令和５年５月12日から令和５年６月14日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

４　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

５　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 14

⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : All Campus Secure Network Infrastructure System 1 Set

⑶　Type of the procurement : Rent

⑷　Basic requirements of the procurement : Kyushu Institute of Technology (KIT) which encompasses all branches of engineering consists of three campuses distributed geographically ; Tobata Campus (the Faculty of Engineering), Iizuka Campus (the Faculty of Computer Science and Systems Engineering), and Wakamatsu Campus (the Graduate School of Life Science and Systems). The target system should be the backbone network in KIT, and should serve for education, research and other campus activities for students, researchers, and officers. The system must be composed of the following 6 subsystems : Network Switch Subsystem, Wireless LAN Subsystem, Next Generation Firewall Subsystem, Virtual Infrastructure Subsystem, High-Capacity Storage Subsystem, Security Countermeasure Subsystem.

A　Network Switch Subsystem
The network switch subsystem interconnects existing systems and provides a high-speed network infrastructure that can maximize performance. This survey broadly seeks information on devices that perform the following functions.